

平成23年度行政視察報告

今年度の委員会の行政視察について報告します。
行政視察とは、各委員会の所管事項について先進的な取り組みを行っている自治体に向いて研修し、今後の政策提言に活かすためのものです。

総務文教委員会

日程：平成23年7月21日

【島根県原子力防災センター（オフサイトセンター）】

「原子力防災体制」、「原子力施設等の防災対策」、「放射線の影響」等について視察しました。

インターネットワーク（通信網）が壊滅し、機能しませんでした。震災を受け、原子力防災関係法令の体系も見直しされる見込みとのことでした。

【中国電力島根原子力発電所】

「島根3号機進捗状況並びに東日本大震災後の地震・津波対策及びその進捗状況」について視察しました。

オフサイトセンターとは、平成11年に茨城県東海村で発生した国内初の臨界事故を教訓として、原子力災害時における拠点として設置された施設です。

当日は、原子力災害が発生したときに災害合同対策協議会の全体会議場となるべき部屋で説明を受けました。東日本大震災では、構築されていた統合原子力防

災電所構内では、1号機、2号機及び建設中の3号機を視察し、事業者から説明を受けました。震災を受け、防潮堤の嵩上げが決定され、既に着工されていました。このほか、広報施設において、中国地方における電力需要と各発電方式の割合等について説明を受けました。

【参加議員】

原田てつよ 田口忠義
天野喜一郎 大月隆司
栗尾順三 小山明正
原田毅 山本俊明



島根県原子力防災センター

環境福祉委員会

日程：平成23年7月27日～29日

【福岡県北九州市】

「高齢者在宅支援施策」について視察しました。

北九州市が独自に行っている様々な支援策の説明を受けました。その中で、徘徊高齢者等位置検索サービ

スは、警備会社と提携し、専用端末を持つ徘徊高齢者の現在位置を家族に提供するものです。ほかにも、認知症コールセンターや成年後見センターを設置するなど、多様な施策を行っており、参考になりました。

【福岡県筑後市】

「市立病院の地方独立行政法人化」について視察しました。

筑後市立病院は、以前は市が直接経営していました。平成23年4月から地方独立行政法人になりました。その結果、人事・予算・給与など、病院が独自に決定できることが増え、柔軟・迅速に対応できるようになったそうです。これは、病院を良くしようという院長の強い意思により実現できたのだと思います。

【佐賀県唐津市】

「社会福祉協議会の保育

所運営」について視察しました。

唐津市では、以前から市立保育所を社会福祉協議会に経営委託していましたが、昭和62年に市立保育所の経営を社会福祉協議会に移管し、現在、社会福祉協議会の職員651名のうち、280名で11園を運営しています。保育所運営の一例として参考になりました。

【参加議員】

仁科文秀 樋之津倫子
馬越裕正 金藤照明
坂本公明 藤井義明
森岡聰子



筑後市立病院